

28 期生のみなさん、保護者のみなさんー

= ご卒業おめでとうございます =

卒業生の皆さん、みなさんは一昨年の廃校決定にもかかわらず、最高学年となった今年度、軟式野球部やソフトテニス部をはじめ部活や行事で大いに活躍して「高南魂」を十分に発揮されました。3 学年そろった「体育祭」や「文化祭」は、タカナンの伝統を後輩に伝え、その思いが十分伝わる感動的な内容でした。

まったく納得のいかない府教育委員会の廃校決定に対しては、先頭に立って反対運動に立ち上がり、16 万の署名を集める原動力になり、大阪だけでなく、全国の皆さんからも注目され、語り継がれる存在となりました。それだけではありません、昨年 10 月 25 日、高南生徒 527 名が名前を連ねた大阪弁護士会への「人権救済の申立」の先頭にたつて、この「申立」を成功させました。高南を愛し、高南の伝統を築き上げてきた自らのこの 3 年間に誇りを持ち、自信を持って巣立ってください。生徒のみなさん、保護者のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

大阪弁護士会への「人権救済の申立」で生徒のみなさんが訴えたこと

統廃合は、これまで培われてきた行事やクラブの伝統を断ち切るもので生徒の正常な学校生活を営む権利を侵害している。

統廃合決定案発表後、生徒への説明がなされなかったことは、「子どもの権利条約」で規定する「知る権利」「意見を表明する権利」を侵害している。

高南生徒の訴えに応じてー「生徒の学習する権利など人権侵害著しい」

行政法専門の弁護士グループが、裁判所への「提訴」の準備に着手しています
著名な教育学者も「高南生徒の権利侵害について」の意見書を準備しています

10月25日、高南生徒526名は、大阪弁護士会に「人権救済の申立」をしました。しかし、12月17日、府議会で私たちの請願署名と強い反対にもかかわらず廃校条例が強行されました。

生徒の学習条件がドンドン悪化するのを放置する府教育委員会

「行事や部活、進学はどうなる?」、高南生徒も保護者も怒りと不安で一杯

当初の説明や約束を次々にやぶる不誠実さ、情報公開請求で廃校理由を裏付ける資料は「不存在」と回答、

「プロジェクトチームで部活動などの伝統継承も検討」という府教委事務局の約束、いまだ全く実行されず

緊急のお願いー「廃校決定に伴う学習権などの人権侵害を訴える親子

訴訟 高南教育訴訟」に参加してくださいー賛同署名をお願いしています

高南生徒・保護者なら誰でも訴えることができます。高南生徒526名の「人権救済の申立」のように、訴えの趣旨に賛成し、賛同署名に応えるだけで訴えに参加できます

提訴に参加しても、名前は「個人情報保護」の法律で外部には一切出ません、進学・就職での不利益は一切ありません、母校をまもることは当たりまえのことです

「廃校決定に伴う生徒の学習権などの人権侵害」を論点に廃校の不当性を訴えます

お金は弁護士のご協力と支援者・賛同者の募金でまかないます、ご心労には及びません

問い合わせ 高南応援団